

# 議案に対する 討 論

## 平成30年度予算に 対する討論

飯塚 正議員（日本共産党）

**反対** 平成30年度予算に対し、反対の立場から討論を行う。

一般会計では、自衛官募集事務を行っている点、マイナンバーカードの作成の推進を図っている点、保育料の完全無料化がなされておらず、こども医療費の現物給付の拡充が不十分な点、敬老会開催事業、ミニデイホーム事業、井頭温泉招待事業の対象となる年齢を70歳から75歳とする点、指定ごみ袋の有料化を続けている点、企業誘致の促進を図るための補助を行っている点、農村部における生活道路の整備について区からの要望に答えきれていない点、奨学資金貸付事業において給付型制度になっていない点、小中学校の施設整備が要望に追いついていない点、国民健康保険特別会計では高い保険税となっている点、後期高齢者医療特別会計では高齢者を差別する事業である点、介護保険特別会計では保険料の引き上げで負担を強いている点、公共下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、水道事業会計では使用料金に消費税を上乗せしている点に反対するものである。

大瀧 和弘議員（真岡自民党議員会）

**賛成** 平成30年度予算案について、市民クラブ、公明クラブ、真岡自民党議員会の3会派を代表し、賛成の立場から討論を行う。

平成30年度は石坂市政にとって、初めての予算編成であり、第11次市勢発展長期計画増補版に掲げる5つのプロジェクトの着実な推進、4年目となる真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の展開による人口減少問題への対応、更には市長との話し合い事業での市民の要望や議会での一般質問、会派の建議要望などに真摯に耳を傾け、これらを実現する予算としたことに対し、高く評価する。

第11次市勢発展長期計画増補版のプロジェクトに沿って所見を述べる。「こどもの元気な成長プロジェクト」では、総合学力調査や学校図書館司書の拡充、ICTを活用した情報教育の推進や小学校の英語活動支援員の充実、外国人の英語指導助手の増員など、指導体制の強化に対し、高く評価する。

「若い世代・子育て応援プロジェクト」では、市内事業所等に就業したUIJターン者への助成などや、創業支援、特に女性起業家の支援、育成に努めている。病児・病後児保育については、病児保育施設を整備

する事業者への支援に取り組むことなどに対し、高く評価する。

「いつまでも安心な暮らしの実現プロジェクト」では、芳賀赤十字病院の新病院建設・開院に対して施設整備及び運営の支援を行うとともに、市単独の急患センターを同病院の敷地内に整備することに対し、高く評価する。また、ICTを活用した地域見守り体制の構築が図られるとともに、障がい者へのサービス提供体制の充実に努めている。

「とちぎをリードする産業プロジェクト」では、イチゴの新規作付け等を行う農家に対し、施設整備等の支援に取り組むとともに、平成31年度の全国いちごサミットの開催に向けた事業の推進を期待する。また、露地野菜生産拡大支援や新規就農者の家賃支援など、地域農業の振興と移住の促進に努めることに対し、評価する。新産業団地については、新たな整備に向けた取組に期待する。

「まちの活力再生・魅力創出プロジェクト」では、新庁舎周辺整備については、まちなか子育て支援機能を含め、中心市街地の賑わいを創出するための複合機能を有する施設の整備の推進に取り組むことに対し、高く評価する。また、更なる観光の振興に取り組むとともに、廃校を活

用した地域活性化については、地元の見解を伺いながら検討を進めることに期待する。総合運動公園の整備については、南ブロック整備が計画的に推進することに期待する。

これら以外の「選ばれた都市もつか」を実現する施策では、真岡鐵道対策として、平成31年春に予定される芳賀赤十字病院の開院に合わせ、北真岡駅南口改修工事が実施されること、引き続き土地区画整理事業の推進に取り組むことや、市内全域で道路交通網の整備が着実に進んでいること、子育て支援については、保育士の離職防止と人材確保の取組が行われていること、ごみ対策については、リサイクルセンターの施設整備が実施されること、防災対策については、芳賀地区広域行政事務組合が実施する二宮分署の建設工事を4町と連携し実施されること、新庁舎建設については、本年秋から庁舎建設工事に着手され、平成32年度開庁に向けて予定どおり整備されることなど、高く評価できる。

事業執行に当たっては、事業の必要性、優先性、緊急性などに十分留意しながら、最小の経費で最大の効果を上げるべく、石坂市長を先頭にスピード感を持って全職員一丸となり推進されるよう期待する。